



ファミリーステーションいなみえんの 地域における役割

臨床心理士 浅田 伸史

今年度より、当児童家庭支援センターファミリーステーションいなみえんでは、臨床心理士である浅田伸史が所長に就任させて頂いた。はなはだ若輩であり、力不足は否めないものの、前任の杉本が築いた地域とのつながりをさらに深めながら、職責を果たしていきたい。

ここで「臨床心理士の」と前置きを書かせて頂いたのには、いくつかの理由がある。その理由を述べさせて頂くことで、当センターの地域における役割を担う方向性の一つを示すことが出来るだろう。



まず、センターの機能について地域に発信する際に「臨床心理士」また「スクールカウンセラー」といった心理職へのニーズの高まりがある。子どもや家族に関わる際に、さまざまな専門職の方々と連携し、仕事をさせていただく中で、教育・福祉・行政などそれぞれの専門的関わりのノウハウを持ちながらも、ひとりひとり違う「こころ」を持った相手と向き合う際にもう一つ別の支えとなる「何か」を求めておられるように感じられた。この「何か」に応えるものの一つが「心理的視座」ではないかと考えている。

また、もう一点として、心理検査や心理アセスメントへの期待と医療への橋渡しとしての心理職の役割もあるだろう。特に、私は元々地域の精神科病院での勤務をしており、現在も総合病院精神科での勤務もさせて頂いている。こういった点は、精神科医療が適切かもしれないが、心理的にも物理的にもなかなか医療機関へは足を運びにくいと感じている方々のクッション的役割となるであろう。また、実際にこれまでもそのような感じて当センターの相談を通じて医療機関受診につながった方も少なくない。

もちろん、センターの機能は「心理職」だけで構成できるものではないのは周知のことで、当センターでも里親支援事業やNobody's Perfectといったグループワーク、ひきこもり親の会の支援事業など多様な事業を展開している。とはいうものの、やはりスタッフにも臨床心理士や心理系大学院修了者を採用し、事業全体にも先述した「心理的視座」を導入していきたいと考えている。



ところで、先ほどから繰り返している「心理的視座」とは一体何であろうか。一つは、臨床心理という大枠の中にまとめられている、多種多様な「心理療法」や「心理技法」といった理論、技法などである。伝統的なフロイトの精神分析やそこから派生した現代精神分析、最近はやったアドラー心理学、エビデンスに基づく認知行動療法、新しい動きも含めれば枚挙にいとまがない。これらの中のいずれか、もしくはいくつかを適用して考えていく事も一つである。しかし、本当に求められ、私たち自身が求めているのは、特定の技法をどのように適用させるかと言う事ではない。私たちが求めるのは、目の前にいる相談者であり、子どもであり、家族に対してである。そして、その方々の持つ悩みや困り感をどのように理解するかである。理論や技法は、そのために役に立つ場面があるならば使っていこうという姿勢である。

つまり、心理的視座とはある理論や技法を理解のために用いる事、ではなく、私たちが目の前の相談と言う形で関わる相手との「関係」をどのように理解しようとするかという姿勢を問い続けようとする「在り方」である。この「在り方」を多様な方法で発信することを当センターの指針としたい。

平成29年度になり、ファミリーステーションいなみえんは新たに相談員を1人迎えました。
相談員1名、里親支援専門相談員1名、臨床心理士2名の計4名で活動を行っていきます。

職員紹介

4月から相談員として働くことになりました森井しづかと申します。

大学時代は子どもと自然の中で遊ぶボランティア団体に入り、子どもたちと山や海などで生き物や植物を探したり探検をしたり…今でもワクワクするような素敵な時間を過ごしました。現在は、学童保育の子どもたちとのかかわる機会があることに嬉しく感じています。

また、“人のこころって不思議だな…”という思いから心理学に興味を抱き、大学から専攻し、昨年度までは大学院で臨床心理学を学んでいました。大学では、人の弱い面だけでなく強みにも焦点をあてて活かしていこうとするポジティブ心理学に魅力を感じ、大学院では弱い部分があっても大丈夫という感覚を経験し学べたように思います。そして今思うのは、自分にある強さも弱さもどちらも大事だということです。特に私は、“自分の弱い部分をみせることはいけないこと”という思いが強かったのですが、人に弱さをみせる勇気がその後自分が誰かを受け入れることにつながると気づきました。

厳しい環境や人間関係の中で生きていくために、つらい気持ちをため込まざるをえなかった人は、たくさんいらっしゃると思います。弱さをみせることができるのは、受け入れてくれると思える人との信頼関係だと思うので、信頼されるような相談員を目指していきたいです。社会人1年目でまだまだ経験不足ですが、「良い」「悪い」で考えず誠実に人とかわつていけるようベストを尽くしていきたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

相談員 森井 しづか

今年度は27名の1年生が新たに学童に入所し、毎日元気に通っています。4月は子どもたちにとって、学年が上がるなど変化の多い時期です。年下の1年生が入ってきて、戸惑いながら過ごしていた2年生の子もいましたが、その子達がキーボードを弾いていたときに、1年生の女の子達に「すごいね」と言われると、「弾きたい？教えてあげようか？」と誘って教えながら一緒に弾くようになっていました。他にも横に並んで縄跳びをしていた時に、自然と跳び方やコツを教えてあげたり、勝負の時もハンデをつけてあげるなどの上級生らしい関わり方も見られるようになってきました。

毎日の遊びの中で少しずつ、教えてあげる喜びや楽しさを経験して、年上としての自覚や思いやりの心を育んでいけるよう、子ども達の遊びを見守り、支援していきたいと思います。



学童支援員 上中 柚花

季節のハナ通信

待ちわびた春がやってきました。新入学、新社会人、新しい世界に臨むキラキラとした眼差しを見かけると、私もドキドキワクワク胸が躍り、この季節はとても好きな季節です。

当センターの花壇前の通りも真新しい制服を着て、色とりどりのピカピカのランドセルをかついだ新1年生が登下校します。まだまだ体が小さくて、制服とランドセルが歩いているような様子を見ると、「かわいい」と思うと同時に、新しい環境で必死に頑張っていることを思い、「がんばれ！！」と声をかけたくくなります。

当センターの花壇も春に向け準備をしていた植物たちが次々に花を咲かせ、新しい花たちも仲間入りしました。長い冬を越え、咲いた途端、春冷えの日に少し元気をなくし心配した花たちが、ポツ、ポツと音を立てるように元気に咲き始める様子は、四季を通じて花たちの様子は変化しても、見守り続けていくと再び花開く瞬間に立ち合える喜びを感じさせてくれます。

相談支援業務をしていると「自分にできることはあるのか？」と悩むことが少なくありませんが、花たちの様子に見守り続けていくことの大切さを改めて教えてもらったことで支援を続けて行く活力をもらいました。毎日登下校していく子どもたちも花壇の花たちと一緒に見守り、今度は「おかえり、がんばったね！！」と声を掛けたいと思っています。

相談員 上出 洋子



石川のおもてなしとは

副理事長 表 敬喜

今年は石川県で全国児童家庭支援センター協議会研究大会を行うということで、どうやって全国の方をおもてなしするかという事をセンター職員をはじめ、実行委員会の方々と話し合っている。北陸新幹線が開通してから金沢は魅力的な場所だと言われることが多くなったが、地元の者にとっては、いったい何をしたら喜んでもらえるのかとても難しい。私たちにとってはなんでもない日常の光景が実は県外の人にとっては魅力的だったりするらしいのだが、それを自分たちで見つけることが一番難しいのではないかと思う。そうは言いつつ実行委員会の方で決まりましたという報告が先日あった。精一杯のおもてなしをするので、参加される皆さんには楽しんでいてほしいと思う。



今後の予定

5月22日(月) 親の会(月定例)

山代地区子どもを育てる会(月定例)

6月 2日(金)～7月7日(金) 毎週金曜全6回

Nobody's Perfectプログラム(当センター)

6月 3日(土) 東海・北陸ブロック里親研究大会<福井>

6月12日(月) 施設心理士会(月定例)

6月14日(水) 石川県校長協会人権特別委員会

6月20日(火) 加賀市子ども支援連絡会(月定例)

相談担当

曜日	一般相談担当	心理担当(要予約)	
	上出・森井	浅田	白田
月	9時～17時		9時～17時
火	9時～17時		13時～21時
水	9時～17時		13時～21時
木	9時～17時		13時～21時
金	9時～17時		9時～17時
土	9時～14時半	10時～17時	9時～14時半
日			

平成28年度相談件数統計

	1/1～3/31	4/1～3/31
電話相談	39件	121件
来所相談	69件	403件
訪問相談	82件	349件
心理療法等	72件	320件
メール・手紙・その他	0件	0件
合計	262件	1193件
児童相談所からの 受託による指導	54件	198件

【山代出張相談】

<場所>

山代ファミリーサポートセンター

<日時>

毎月第2・第4(水) 13:00～15:00

連絡は当センターまで。

【相談ダイヤル】

月曜～土曜/9:00～17:00

0761-75-8889

子どもと家庭の悩み 話してみませんか？

児童家庭支援センター ファミリーステーションいなみえん

〒922-0412 石川県加賀市片山津温泉井6番地

TEL 0761-75-8889

FAX 0761-74-1461

E-mail center@inamien.jp

HP <http://www.inamien.jp>